

大阪公立大学都市科学・防災研究センター

国際シンポジウム

参加費
無料

2023年2月19日
10:00 18:10



ハイブリッド開催
リアルでも オンラインでも

会場 大阪公立大学学術情報総合センター1階 文化交流室

※当日、センター閉館中のため、正面玄関が閉鎖されています。西側通用門よりお入りください

本シンポジウムは、東アジア都市における子どもや若者の現状を共有し、将来の都市づくりの中心となる次世代育成の課題を模索するための場である。新型コロナウイルスによるパンデミックの影響も加わり、様々な場面で社会の亀裂が顕在化している。家族のみならず、地域社会でも閉塞感が高まる中、孤独や孤立ともかかわる様々な困窮事案が繰り返し起き、メディアでも連日報道されている。とりわけ、子どもの貧困にかかわる虐待、また子どもや若者がケアを担当することによるヤングケアラーの問題など、子どもや若者関連の問題が指摘されている。一方、2022年12月に「全世代型社会保障構築会議」の報告書が出され、「全世代で支え合い、人口減少・超高齢社会の課題を克服する」ための基本的方向が示された。その中心には「地域共生社会」の実現が打ち出されている。本年(2023年)4月には「子ども家庭庁」が発足予定で課題解決に向けた本格的な取り組みが始まる。本シンポジウムでは、類似した開発経験や文化的規範や言語を共有する東アジア各都市の課題や実践等を共有し、当センターが取り組む「レジリエントな都市づくり」のビジョンを模索していくための一歩としたい。

10:00 10:10	開会の挨拶	所長	
10:10 10:25	共同研究1	古下政義 当センター特別研究員・ICN-Japan副代表・堺市職員	東アジアインクルーシブ都市ネットワークの構築に向けた都市間の経験知の整理と理論化
10:25 10:40	共同研究2	森口由生子 関西福祉科学大学教授	都市部の学校へ通う子どものヤングケアラー問題に関する調査研究—小中学校の教員への調査を通して
10:40 10:55	共同研究3	楊慧敏 同志社大学大学院助手	外国にルーツをもつヤングケアラーの支援体制に関する研究—小中学校の教員へのインタビュー調査を通して
10:55 11:10	共同研究4	ほんまなほ 大阪大学教授	釜ヶ崎における文化実践の事例研究：紙芝居劇団むすびの表現
11:10 11:25	共同研究5	中川真 当センター特任教授	文化とコミュニティ維持のための村落・都市共創システムの構築
11:25 11:30	休憩		
11:30 11:50	特別研究員1	坂本知壽子 当センター特別研究員	多文化を横断する子どもたちへの教育支援につながる生活支援：現場と研究の往復によるオートエスノグラフィの試み
11:50 12:10	特別研究員2	市道寛也 当センター特別研究員	水上生活者の生活圏と陸上への移住—第二次世界大戦後の大阪港周辺に着目して（仮）
12:10 12:30	質疑応答		
12:30 13:30	昼食		
13:30 14:30	香港	YIP/NGAI MING 香港城市大学教授	Social support for children and young people in marginalised households -the Hong Kong experience
14:30 15:30	台湾	HUANG/LI LING 国立台湾大学副教授	Housing Problems and Life Trajectories of Young People in Taiwan
15:30 15:40	休憩		
15:40 16:40	韓国1	LIM/DEOKYOUNG 韓国保健社会研究院主任研究員	韓国における傷つきやすい児童・青少年政策の現況及び課題
16:40 17:40	日韓	朝比奈祐揮 韓国外国語大学助教授	ソウルと東京でミレニアル世代に聞いた不平等と不公平
17:40 18:00	総合討論		
18:00 18:10	閉会の挨拶	都市科学部門長	

- Zoom ミーティングリンク -

<https://omu-ac-jp.zoom.us/j/97489650772?pwd=ZTBXZ040M1pFc2N0Ymxwcz0ZPVZnZz09>
ミーティング ID: 974 8965 0772
パスコード : 550074



大阪公立大学学術情報総合センター

大阪市住吉区
杉本3丁目2

Googleマップ
QRコード

会場周辺MAP

